

## 法皇山脈



四国中央市を東西に貫く法皇山脈。越智玉澄が湓灘で暴風雨にあったときに赤い星が出て波風がおさまったという伝説をもつ赤星山、「おといこさん」で有名な豊受山、カタクリの花で有名な鋸山、菜の花やコスモスで有名な翠波峰などが連なります。

法皇山脈の名前の由来は、平安時代、白川法皇が京都に寺院を建立する際に、宇摩地方のこの山から献上した木材が非常に優れていたということで、「法皇」の名をつけることを許されたという説をはじめ、諸説あります。